



和歌山「正論」懇話会

## 習体制「偉大なる中国へ回帰願望」

渡辺利夫氏が講演

和歌山「正論」懇話会の第74回講演会が2日、和歌山市のホテルアバローム紀の国で開かれ、拓殖大学総長の渡辺利夫氏が「中国・韓国の国際秩序観念―日中・日韓関係悪化の底にあるもの―」と題して講演した。写真(秋山紀浩撮影)。

渡辺氏は、習近平体制のスローガン「中国の夢」について「過去の偉大なる中国への回帰願望をレトリック化している」と指摘。「経済成長が続き国際的認知を得た中で中国人の胸に宿り始めた痛快な気分を表したものだ」と説明した。

また、中国の伝統的価値観念に関して「周縁に位置する人種や民族ほど文明が低いとみなす古来の価値観念を基に、尖閣諸島(沖縄県石垣市)を自分のものと考えたり、領海侵犯を繰り返したりしている」と説明。「日本が耐えきれずに崩れることを狙っているとも思える」と述べ、集団的自衛権の行使容認などが重要になると強調した。